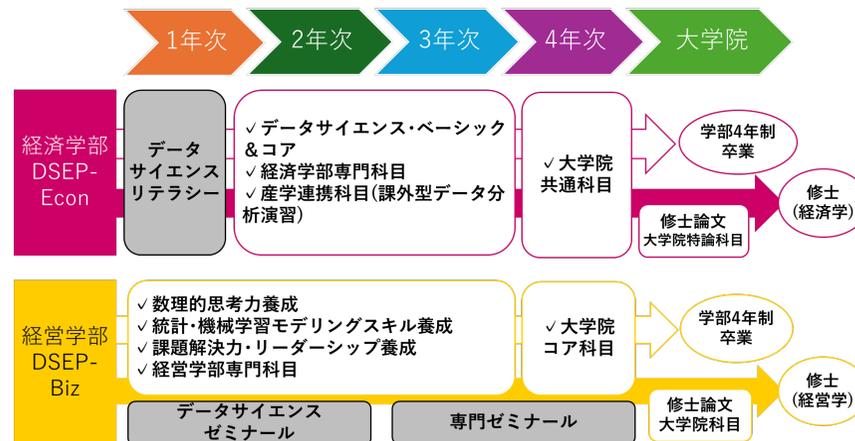


大学名 横浜国立大学

第72号 特集テーマ「データ人材の育成」

表題 経済学・経営学とデータサイエンスの融合による人材育成を目指す教育プログラム

DSEPとは？ 横浜国立大学経済学部・経営学部では、数理・データサイエンスの重要性が高まる中、社会ニーズに即した人材を育成するために、2021年4月から両学部においてデータサイエンス教育プログラム(DSEP)を展開している。



DSEP-Econ(経済DSEP)

DSEP-Econでは、1学年20名の少人数教育のもと、経済の専門性と統計分析能力の融合によって、政策立案やビジネスをマネジメントする能力に秀でた社会データサイエンティストの育成を目指している。学生の進路選択により、5年一貫教育による修士号の取得も可能である。

専門教員の配置によるデータサイエンス科目の提供のほか、実践的な活用方法を学ぶ「データサイエンス・カフェ」の開催、横浜銀行グループ、インテル、イージェーワークス、QUICKとの連携による「課外型データ分析演習」の実施により、キャリア形成を見据えた教育活動を展開している。

参考URL <https://www.econ.ynu.ac.jp/education/dsep/>

DSEP-Biz(経営DSEP)

DSEP-Bizは、データ分析テクノロジーを課題解決や事業創造に活かす未来のビジネス・リーダーの育成を目指す、ビジネス・リーダー育成に特化した教育プログラムである。徹底した少人数教育を特色とし、1学年10名(2026年度から14名に増員予定)の定員の下、1年次から2名の指導教員がプロジェクトベースでゼミを行う。アイネット、電通マクロミルインサイト、primeNumber等のIT関連企業と連携し、実践重視のビジネス・リーダー育成教育を展開している。2024年には、DSEP学生と教員の共同研究が第3回計算社会科学会にて大会優秀賞を受賞するなど、データサイエンス研究にも力を入れている。

参考URL <https://www.cecba.ynu.ac.jp/dsep/index-b.html>